

第3回会津美里町総合計画審議会 開催記録（会議内容の要点記録）

日時 平成26年11月12日（水）午前10時～午前11時50分

場所 会津美里町役場本郷庁舎 301会議室

出席委員：石光真委員 大竹勉委員 鶴賀イチ委員 千葉正秀委員
杉原由美委員 斎藤信子委員 須田保子委員 櫻井宏信委員
武藤裕一委員 横谷光子委員 上杉述史委員 全14名中11名出席
欠席委員：遠藤秀一委員 白井栄一委員 新山諭委員

事務局：まちづくり政策課長 佐々木宏光 課長補佐 佐々木康 係長 渡部雄二
担当 鈴木英哉

同席コンサルタント：(株)青島裕之建築設計室 青島（裕）、樋口、須永

○開会 大竹副会長

○会長あいさつ

○議事

配布資料の確認

1. 将来人口推計について

（コンサルタントから推計方法等について説明）

会長 コンサルタントで詳細な推計を実施した結果であります。国の推計は福島県の市町村別の推計がでていないとのことなので、作業量は大きかったものとおもわれる。この推計について皆様から意見・質問をいただきたい。

委員 非常に厳しい減少となった数値である。これでは町が消滅してしまうのではないか。このような推計を他の市町村等でも実施しているのか。

コンサル 他の市町村でも人口の推計は実施している。

会長 会津若松市、西会津町の推計も確認しているが、この推計は間ぐらいであり、もっと厳しいところもある。

コンサル こうならないための政策を考えていく必要がある。全国の市町村では成功例もある。

- 委員 現実に人口が増えている事例があるのか。
- コンサル 海女町など成功例はある。
- 委員 会津美里町にあてはまる事例はあるのか。
- コンサル 徳島県の中山間地の例など、会津美里町より条件の不利な地域での事例もある。
- 会長 がんばっている事例もあるが、地方は減ってきているのも事実である。
- 委員 本町でも新規の公共施設整備が予定されている。しかし、このように人口が減少するのでは、希望が見えてこない。この会議で対策を考えるのか。
- 会長 それを踏まえて総合的にどうしていくのかが総合計画と認識している。しかし、少子化対策などにより効果はあるだろうが、大きく変えられるものではない。長期的に傾きを抑えていこうということになる。
- 委員 全国の成功事例を教えてほしい。
- コンサル 若い世代へ住む場所を提供するという方法で、先ほど紹介した市町村では成功している、就業プログラムなどの例もある。
- 委員 人口増には、企業誘致とか少子化対策とかいわれているが、どこでもやっていること。独自の施策を考えるには情報が不足している。この近辺でも若い世代への支援策を講じているところもある。
- 会長 こういった数値を見ることの一番のメリットは危機感を持つことだと考える。皆さんも危機感を感じたことと思う。危機感を持つことから打開策を考えられる。今後皆さんと考えていくことが重要。

2. 第2次総合計画庁内振り返り結果報告について

(事務局から振り返り結果のうち構想・計画体系に関することについて説明)

- 委員 よくまとまっていると感じるが、1-1 自然環境の保全で町内河川の水質の指標が毎年100%となっているが、100%という数値はありえるのか。
- 事務局 一級河川等はBODやCOD等の基準があり、毎年実施している水質調査では、採取した水でこの基準をクリアできていないものが無いことから100%となっている。
- 委員 町民が理解しやすく、参加しやすい。総合計画を読んで、自分たちが何をしなければいけないのか、何をすべきなのかが明確になるよう、表現はできるだけやわらかく、やさしい表現にしてほしい。たとえば「自然環境の保全」ではなく、「森を豊かに」「川をきれいにする」などのやさしい言葉の下に施策名をつけるなど。
- 会長 町民が何をすべきかも記載していったほうがよい。
- 事務局 第2次総合計画でも、行政のすべきこと、町民のすべきこと等の表記はあるが、さらに町民にわかりやすい表現となるよう検討していく。
- 委員 ダイジェスト版を町民が受け取った時に、町民として何をすべきか明確になる

ようなものにしたほうがよい。

委員 各施策の目標値について、達成が困難な数値も見受けられるが、これらについての反省はしているのか。

事務局 毎年度の施策評価等により反省、改革改善は行っている。第2次総合計画策定時に数値目標を立てたが、各施策で5年後の目標値を設定することは、当時初めての試みでもあり、数値目標自体が高く設定されているものもある。

委員 数値自体が厳しいのは理解できるが、数値が下がっているものもあり、これらについてはどうなっているのか。数値が全般的に良くない印象がある。これらについてどこに問題点があるのかを含めて検討すべき。

会長 数値は数値として受け止めることは必要。政策、施策の組み合わせについては、技術的な部分もあるが、振り返りの意見のとおり修正すべきと思う部分もある。詳細を考えるには事務事業についても検討する必要があるが、本会議ではそこまでは必要ではないと思う。

3. 町民アンケート結果について

(アンケート結果概要について事務局より説明)

委員 アンケートの回収結果が悪い。人に頼んで回収すれば回収率が上がるのではないか。10代が少なく70代の回答数が多いが、同数を発送しているのか。

事務局 10代は対象が18歳と19歳のみなので総数は少ない。20代以降は各年代同数を発送しているので、年齢階層が高いほど回収率が高い状況となっている。

委員 年齢階層ごとの回答結果は事務局で把握しているのか。

事務局 クロス集計を現在コンサルで実施しており、次回審議会までには資料として提示したい。

委員 回答率が悪いのは、最初の部分で難しいため、「あとでやろう」となってしまうのではないか。

会長 いろいろ反省点がでたので、今後の参考にしてほしい。YESかNOだけで答えられるアンケートであれば取り組みやすいと考えられる。先ほどの重要度・満足度の表や自由記述など、次回審議会に提示されるとのことなので、内容については次回十分検討していきたい。

4. その他

第2回ワークショップの結果概要について

(コンサルタントから説明)

委員 ワークショップの開催時間を早めることはできないのか。

事務局 このあと皆様へご連絡する予定でございましたが、第3回目のワークショップを12月13日(土)午後2時から開催予定ですので、皆様のご参加をお願いします。

委員 第2回も高田地域の参加者が多かったのか。

事務局 本郷6名、新鶴2名で高田が22名という状況でした。

委員 前は参加者が割りと多いと感じたが、次回の参加者はどのぐらいを考えているのか。

事務局 今回同等ぐらいの参加者は来ていただきたいと考えており、前回の参加者へは文書で参加の依頼をする予定。

第4回総合計画審議会日程について

平成26年12月17日(水)午前10時から

○閉会 大竹副会長